

NEWSLETTER

特定非営利活動法人日本グリーンビルディング協会

Vol. 1 /2008

2000年地球の日(アースデイ)フェスティバル



2000年4月23日 名古屋市テレビ塔下もちの木広場(野外イベント)



2000年4月22日名古屋市中区役所ホール(室内イベン

■「日本グリーンビルディング協会10年の軌跡」

10周年を迎えるにあたり、一事業として当協会の会員である日刊建設通信新聞社の紙面に4回にわたり「日本グリーンビルディング協会の10年の軌跡」が掲載されました。会員の皆様にはもちろん、会員以外の皆様にも協会活動の意義を知っていただく機会となることと思います。

日本グリーンビルディング協会

10年の軌跡①

Japan Green Building Council

科学の恩恵、技術の恩恵を使うことによって、自分の豊かさの中心をどこに置くかを考えながら、「これを犠牲にしても、いざなふことをやりたい」とがあれば、それをちゃんと選択することによって、人間つてけっこう豊かなんぢやないかしらと思つ。

參議院議員

谷岡 郁子さ



科学の恩恵、技術の恩恵を使うことによって、自分の豊かさの中心をどこに置くかを考えながら、「これを犠牲にしても、それをやりたい」と思って、人間つてけっこう豊かなんじゃないかしらと思う。でも、そのトータルに、取り組んでこなかった、豊かさは環境に悪いの、自分のエネルギーの消費が、それが変わり始めたんだ、それは健康なんだとか、今これを持つてなんだ、それを着られる人間に、どうか、いい人間だと思える、そういう楽しみを残しながら、分をわきまえた人が、毎年何回か旅行することによって、ができますが、それが何でもいいといじやないかと思う。

う。
でも、そのトータルに、に取り組んでこなかった、
分のエネルギーの消費が、それが変わり始めた
年何回か旅行すること、できることなどどう
なんだろうか、海外にがら、分をわきまえた人
間にやることを楽しみにする」ことがあってもい
う。
「確かに、環境問題は重要な問題だ。
でも、いかが自分か私は今これを着られる人間だとか、今これを持つて
て豊かさっていうのは今これを着られる人間だとか、今これを持つて
んだ、それは健康なんだと、そういう楽しみを残しながら、分をわきまえた人
なんだろうか、家族が元気で、みんな仲がいいこと、そういう楽しみを楽しむことを
なんだろうか、それは何でもいいと
いう。私は環境問題にまじめ

「百年地球の田アユス元ハル」講演より抜粋



中野 良子さん

二三ヶ月には大き
な公園があつて、ちよ
と足をのばせば、リスが
町の中心で飛び交つてい
る。リスの動きを見て育
つ子と、(ビルの)コン
クリートの壁を見て育つ
子とでは、心の動きが変
わつてゐると思う。それ
はどうして感じるかとい
うと、俳優といふ職業は、
できるだけよい人間を作
りたい時は、私は、できるだ
け自然の豊かな町の中で
暮らしたいといつ願望
事であり、ヒロインを作
る。人間の心を作っている社

から見える
ふだん、一步外へ出る いくという人材、豊かな才
リートで固められたビル 人材になつてほしい子供
だ。だから、朝日とか夕 もが、なかなかそつとな
日とかつていうのは、あ ない可能性が出てくる。
まり自分の中に見ずに過 豊かな自然の中で感
ごしている。裸足で土に てたましく育つから、
触れることが少ない。植 それが人を引っ張り、新
物の微妙な変化、光の変 しい産業を興していくよ
化、光と植物が出会った ういふ台になつていいくと
思う。

りたいために、自分が 時の変化とかを 体で感
感性が、豊かで、自然の じなくなっている空間に
美しいものを感じて生き 育らすと、子どもは無事
てみたい。そうすると、 識にそのまま、その環境
作る人間も感度もよくな を受け止めてしまう。す
る。感度がよい人間が暮 ると、感度があまりよく
らしていると、観光客も ない、単純な人間にな
たくさん来るし、仕事の ていく可能性が出てくる
取引先も、たくさん世界 う。そして、いい産業を

会員募集のご案内 当協会では、個人のかたの積極的な参加をお待ちしています。詳しくは、HPアドレス：<http://www.jgbc.com/>をぜひご覧下さい。

*記載内容を他にご利用される場合には、記述は当方まで相談・確認ください

特定非営利活動法人 日本グリーンビルディング協会

【事務局】〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-29-10 TEL052-733-6825/FAX052-732-377

ホームページ <http://www.jgbc.com>

E-mail green-building@jgbc.com

